

令和9年度（2027年度）
東北大学大学院国際文化研究科
博士課程前期2年の課程（秋季・春季）入学試験

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜

海 外 出 願 特 別 選 抜

（令和9年（2027年）4月入学者用）

	秋季入学試験	春季入学試験
出願受付	令和8年（2026年） 7月3日（金）9：00～ 7月16日（木）16：59	令和8年（2026年） 12月1日（火）9：00～ 12月16日（水）16：59
試験実施	令和8年（2026年） 9月10日（木）、9月11日（金）	令和9年（2027年） 2月9日（火）、2月10日（水）
合格発表	令和8年（2026年） 9月16日（水）16：00	令和9年（2027年） 2月17日（水）16：00
入学手続	令和9年（2027年）2月22日（月）～3月5日（金）	

令和8年（2026年）5月
東北大学大学院国際文化研究科

国際文化研究科のアドミッション・ポリシー

東北大学大学院国際文化研究科は、(1) 国際的視野に立った日本や世界の多様な地域文化、(2) 環境や資源等をめぐる地球規模の諸課題や人類が共存しうる持続可能な社会および(3) 国際社会の基層を支える言語の3分野に関する高度な専門的知識、明確な問題意識、それらを支える国際的かつ学際的思考・分析力および高度な外国語運用能力を有し、人類の文明と文化の継承・発展に寄与するという高い理想を具え、豊かな教養と国際感覚を兼備したグローバルに活躍しうる専門職業人や教員・研究者を育成することを教育上の目標とします。こうした教育目標のもと、本研究科は柔軟な思考力と広範な学識および高度な語学力を備え、国際舞台で活躍する創造的な研究者または専門職業人になろうという明確な目的意識を有している人を求めます。

学生の受け入れにあたっては、一般選抜、外国人留学生海外出願特別選抜、進学者選抜(博士課程後期3年の課程のみ)、グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム入試および言語総合科学コース入試の枠を設けて入学試験を実施し、上記の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

(博士課程前期2年の課程)

一般選抜試験では、(1) 筆記試験による専門的知識の審査および(2) 面接試験と出願書類による研究で必要とされる外国語運用能力、志望動機、研究計画等の審査を行い、これらをほぼ同程度の比重で評価して選抜を行います。

外国人留学生海外出願特別選抜試験では、(1) 出願書類および(2) 面接試験により、出身大学からの推薦をうけた志願者に対して専門的知識、論理的思考力と文章表現力、研究計画と研究意欲等を審査し、これらをほぼ同程度の比重で評価して選抜を行います。

グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム入試では、(1) 出願書類および(2) 面接試験により、英語コースでの修学に必要なとされる高い英語運用能力および今日的な社会課題に対する研究意欲、思考能力と実践的課題設定能力等をほぼ同程度の比重で評価して選抜を行います。

言語総合科学コース入試では、(1) 出願書類および(2) 面接試験により、英語コースでの修学に必要なとされる高い英語運用能力および言語科学研究に必要なとされる専門知識と学際的思考能力等をほぼ同程度の比重で評価して選抜を行います。

なお、入学前に講座・プログラム・コースに応じた基本的な専門的知識、基礎的な外国語運用能力および論理的な文章構成力を身につけておくことを希望します。

一 般 選 抜

1. 募 集 人 員

(1) 令和9年(2027年)4月入学の募集人員は、次の表のとおりです。

学生募集を秋季と春季に分けて2回行います。入学志願者は、秋季と春季のいずれか、または両方を受験することができます。

専攻名	系名	専攻分野(講座)名	募集人員	備考
国際文化研究	地域文化研究	ヨーロッパ・アメリカ研究	35名	募集人員は、秋季と春季の合計数です。 募集人員の中には、外国人留学生海外出願特別選抜を含みます。
		アジア・アフリカ研究		
	現代日本メディア・ジェンダー研究			
	グローバル共生社会研究	国際政治経済論 国際環境資源政策論 多文化共生論		
	言語総合研究	言語科学研究 応用言語研究		
計			35名	

(2) 令和9年(2027年)10月入学の英語プログラム(言語総合科学コース)の募集方法については、同プログラムの学生募集要項をご覧ください。募集は、言語総合研究系のみとなります。

(3) 令和9年(2027年)4月及び令和9年(2027年)10月入学の英語プログラム(グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム)の募集方法については、同プログラムの学生募集要項をご覧ください。

2. 出 願 資 格

博士課程前期2年の課程(一般選抜)に出願できるのは、次のいずれかに該当する方です。

- (1) 大学卒業者 学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)に定める日本の大学を卒業した者(令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者を含む。)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者(令和9年(2027年)3月までに学士の学位を授与される見込みの者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者を含む。)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者を含む。)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者を含む。)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科

学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(令和9年(2027年)3月までに修了し学士の学位を授与される見込みの者を含む。)

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者を含む。)
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (9) 法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年(2027年)3月末日までに22歳に達するもの

備考

① 法第102条第2項及び本学大学院通則第11条第9号に定める「大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの」に関する出願資格については、本年度は適用しません。

② 出願資格(6)に該当する方は、下記期日までに国際文化研究科教務係へ問い合わせてください。
秋季 令和8年(2026年) 6月5日(金)
春季 令和8年(2026年) 11月6日(金)

③ 出願資格(9)または(10)に該当する方は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ国際文化研究科教務係へ問い合わせのうえ、下記期日までに本研究科が指定する書類を提出してください。

秋季 令和8年(2026年) 6月5日(金)
春季 令和8年(2026年) 11月6日(金)

④ 本研究科では、研究内容等への理解を深め、指導教員の研究分野と志願者の研究テーマが合致しているかどうかを確認するために、志願者からの事前相談を受け付けます。

指導や受入が難しい場合もあるため、出願にあたっては、指導を希望する教員へ事前に研究計画等の相談をすることを強くお勧めします。

東北大学大学院国際文化研究科 教員連絡先

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/ja/faculty/>

※事前相談の有無や相談内容が入試の可否に影響することはありません。

※入試に関する情報提供は、試験日程や募集要項などで公表されている基本的な情報のみとします。

3. 出願手続

出願は指定のオンライン出願システム The Admissions Office（以降、TAO と表記します。）で行ってください。オンライン出願のおおまかな流れは次のとおりです。

1 募集要項の確認・必要書類の取得



- ・本募集要項で、出願資格（M一般1～M一般2ページ）や出願に必要な書類（M一般4～M一般7ページ）等をよく確認してください。
- ・出願書類の「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2 検定料の支払い



- ・本募集要項 M一般5ページの指示に従い、日本国内在住者は指定された銀行口座への振込みにより、日本国外在住者はオンラインによるクレジット決済により検定料を納付してください。なお、納付の際の手数料は志願者負担です。
- ・出願登録時に検定料納付の控えをアップロードしてください。

3 TAO 出願登録サイトで出願登録



- ・The Admissions Office のウェブサイトアクセスし、アカウント作成後、志願者の情報等の必要事項を入力してください。<https://admissions-office.net/>
- ・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。
- ・登録後は、登録した内容の変更はできません。登録するときは、誤りのないように、確認しながら慎重に行ってください。

注) 最後に「出願完了」のボタンを押して、出願を完了してください。

データが入力されていても出願が完了していない場合は、出願は受け付けられません。

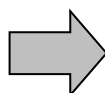
出願完了後は、必ず TAO の「出願一覧」画面で、該当の選抜が「完了済」タブに表示されていることを確認してください。

出願を完了する

【注意事項】
出願完了後すべてのデータは編集不可となります。
入力が入力がすべて完了しているか再度確認してください。

上記確認のうえ出願する。

キャンセル **はい**



The Admissions Office

学校検索 募集検索 基本情報 **出願一覧**

出願一覧

出願状況	募集名	募集締切日時
☆ 未完了		
☆ 完了済	東北大学/国際文化研究科/...	

(1) 出願書類

TAO から、下記の手順に従い、受付期間内に指定の書類を提出してください。

【手順】

1. 下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が表示されますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。

<https://admissions-office.net/>

※外国人の方で、氏名の漢字表記がある方は、できるだけ漢字を用いて登録してください。

2. アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューで「東北大学/国際文化研究科/博士課程前期 2年の課程/一般選抜」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。
3. それぞれの提出書類毎の指示に従って、オンライン出願システムの入学願書フォームに必要事項を入力する、または書類をデータ化し出願フォームにアップロードしてください。
 - ・書類のデータ形式は、指定があるもの以外は PDF 形式としてください。
 - ・提出する証明書は原則として **日本語または英語** のものとし、それ以外の言語の場合は **和訳または英訳を添付** してください。
 - ・上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に国際文化研究科教務係へ問い合わせてください。

※一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※受付後の出願取下げは認めません。

※出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

※試験に合格して入学する者は、入学手続き時に TAO にアップロードした書類の**原本の提出**が必要です。アップロードした書類と、入学手続き時に提出した原本の内容に相違がある場合、あるいは各種証明書の原本を提出できない場合は、書類不備として入学許可を行わないことがあります。

No.	提出書類等	摘 要
1	入学願書及び履歴書	TAO の入学願書フォームに必要事項を入力すること
2	顔写真データ	・上半身無帽像で3ヶ月以内に撮影した、パスポート申請時に使用するような画像（修正・加工不可） ・試験時に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影すること ・サイズは原則として「縦4：横3」の比率で撮影（またはトリミング）し、データは JPEG 形式、ファイルサイズは 8MB 以内とすること
3	卒業（見込）証明書	・出身大学（学部）長が発行するもの（出身大学以外の機関が発行するものは認めない） ・出願資格(2)の該当者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書（短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書も可）
4	成績証明書	出身大学（学部）長が発行するもの（出身大学以外の機関が発行するものは認めない）
5	研究計画書 (表紙に志望専攻分野(講座)名・氏名を記入すること)	・A 4 判の用紙に、日本語で問題意識を明確に記入すること (2,000 字～3,000 字程度、参考文献は指定文字数に含める) ・卒業論文のある者は、当計画書の中にその骨子を含めてもよい。

6	外国語資格・検定試験の成績証明書等	外国語資格・検定試験の成績証明書等を提出 (提出可能な試験の有効期限及び種類については、(2)外国語資格・検定試験の成績証明書についてを参照し、1種類のみ提出すること)
7	検定料 (30,000 円)	<p>①日本国内からの志願者は、ATM (金融機関、コンビニエンスストア) やインターネットバンキング等を利用の上、下記により検定料を納入し、振込の控えを PDF 形式または JPEG 形式でアップロードすること</p> <p>金 額： 30,000 円 銀 行： 三菱 UFJ 銀行 銀行コード：0005 支 店： わかたけ支店 支店コード：809 預金種別： 普通 口座番号： 2259370 口座名義： 国立大学法人東北大学 カ ナ： ダイトウホクダガク</p> <p>※ 振込依頼人名は、次のとおり登録すること 「KM ○○ ○○ (志願者本人のカナ氏名)」 ※ 振込手数料は、本人負担となる ※ この口座には、海外からの送金は行わないこと</p> <p>②日本国外からの志願者は、オンラインによるクレジットカード決済で、下記により検定料を納付し、最後に表示される手続完了画面「Result」の画像を提出すること</p> <p>https://e-shiharai.net/ecard/にアクセスし、各項目で以下の通り選択する "Examination Fee" "Tohoku University (Graduate schools)" FirstSelection:"Graduate School of International Cultural Studies" SecondSelection: 秋季の場合 "General Admission (Fall)" 春季の場合 "General Admission (Spring)" FourthSelection:"Master's Program 30,000 JPY"</p> <p>※ 振込手数料は、本人負担となる</p> <p>③国費外国人留学生は、検定料は不要</p> <p>*本学では、令和8年度(2026年度)に日本国内で発生した風水害等の災害及び令和6年能登半島地震による被災者の経済的負担を軽減し、その進学機会の確保を図るために、今年度実施する入試において入学検定料免除の特別措置を講じます。免除を希望する方は、<u>出願前に必ず</u>本研究科教務係までお問い合わせください。</p>
8	国費外国人留学生証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・国費外国人留学生のみ (在籍大学の発行のもの) ・本研究科に在籍している国費外国人留学生は提出不要
9	住民票 (在留資格が明記されているもの) または在留カードのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に在留する外国人 (在留期間が90日を超える者) のみ ・住民票を提出する場合は、市区町村長の発行のもの 秋季出願：令和8年(2026年)4月以降に発行されたもの 春季出願：令和8年(2026年)9月以降に発行されたもの ・在留カードのコピーを提出する場合は、両面分提出すること

(2) 外国語資格・検定試験の成績証明書について

注1) 日本国籍を有しない方は、外国語は「日本語」を選択してください。

注2) 日本国籍を有しない方で、次のいずれかに該当する場合は、外国語は「日本語」と第一言語(母国語)以外の、指定された外国語の中から選択してください。

- ・日本の高等学校及び日本の大学を卒業した者(または卒業見込みの者)
- ・日本の大学の大学院を修了した者(または修了見込みの者)

注3) 日本国籍を有する方は、外国語は「日本語」を選択できません。

注4) 本学国際学士コース卒業生で、上記注2)及

び注3)により日本語を選択できない方については、英語試験または英語の外国語資格・検定試験の成績証明書等の提出を免除します。

専攻分野(講座)名	選択できる外国語(1か国語を選択)
ヨーロッパ・アメリカ研究	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語
アジア・アフリカ研究	英語、ドイツ語、フランス語、日本語、中国語、朝鮮語
現代日本メディア・ジェンダー研究	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語、中国語、朝鮮語
日本宗教・思想史研究	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語、中国語、朝鮮語
国際政治経済論	英語、日本語
国際環境資源政策論	英語、日本語
多文化共生論	英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、日本語
言語科学研究	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語、中国語、朝鮮語
応用言語研究	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語

◎外国語資格・検定試験の成績証明書等の種類

下記のいずれか1つを提出してください。

語種	名称	必要とされる成績証明書等
英語	TOEFL iBT® テスト	TOEFL iBT® テスト 注) Test Date スコアのみを出願スコアとして利用する。(MyBest™ スコアは利用しない)
	TOEFL ITP® テスト	TOEFL ITP® テスト
	TOEIC® テスト/TOEIC® Listening & Reading Test	TOEIC® テスト/TOEIC® Listening & Reading Test ※日本国内で実施された TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコア提出については、デジタル公式認定証のみ受け付けます。
	TOEIC® IP テスト/TOEIC® Listening & Reading IP Test	TOEIC® IP テスト/TOEIC® Listening & Reading IP Test
	IELTS™ (academic)	IELTS™ (academic)

	実用英語技能検定	準1級/1級
	ケンブリッジ英語検定	B2 First/B2 First for Schools/C1 Advanced/C2 Proficiency
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1/B2/C1/C2
	TestDaF	TDN3/TDN4/TDN5
	ÖSD	Zertifikat B1/B2/C1/C2
	ドイツ語技能検定試験	2級/準1級/1級
フランス語	DELF・DALF	DELF B1/B2、DALF C1/C2
	実用フランス語技能検定試験	2級/準1級/1級
スペイン語	DELE	B1/B2/C1/C2
	スペイン語技能検定	4級/3級/2級/1級
日本語	日本語能力試験	N2/N1 注)「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」を提出
	日本留学試験	日本語(読解、聴解・聴読解)の成績確認書 注)有効期限は、出願年度の2年前の1月1日以降に受験したもとする
中国語	HSK(漢語水平考試)	4級/5級/6級
	TOCFL(華語文能力測驗)	Level 3/4/5/6
	中国語検定試験	2級/準1級/1級
朝鮮語	TOPIK(韓国語能力試験)	TOPIK II 4級/5級/6級
	「ハングル」能力検定試験	準2級/2級/1級
ロシア語	ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験(TPKИテ・エル・カ・イ)	第1レベル/第2レベル/ 第3レベル/第4レベル
	ロシア語能力検定試験(ロシア語能力検定委員会)	2級/1級

* TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC は Educational Testing Service(ETS)の登録商標です。

◎外国語資格・検定試験の成績証明書等の有効期限

出願年度の5年前の1月1日以降に受験したものの。

出願が令和8年(2026年)7月～令和8年(2026年)12月の場合、令和3年(2021年)1月1日以降に受験したものの

ただし、日本留学試験の成績確認書の有効期限は、出願年度の2年前の1月1日以降に受験したものとします。

出願が令和8年(2026年)7月～令和8年(2026年)12月の場合、令和6年(2024年)1月1日以降に受験したものの

(3)出願受付期間

秋季 令和8年(2026年) 7月 3日(金) 9:00 から
令和8年(2026年) 7月16日(木) 16:59 まで
春季 令和8年(2026年) 12月 1日(火) 9:00 から
令和8年(2026年) 12月16日(水) 16:59 まで
(いずれも日本時間)

※出願受付期間内に TAO の「出願完了」のボタンを押してください。

データが入力されていても出願が完了していない場合は、出願は受け付けられません。

※障害等があり受験及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前の早い時期に 9. その他(6)にある学生募集事務に関する照会先に申し出てください。必要に応じた配慮を行います。申請書の様式 (Word ファイル) は以下の URL よりご確認ください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/file/924/9d9b2980-86d6-11f0-b277-3f846f7f1038>

(4) 出願後の留意事項

出願完了後、書類に不備等があった場合は、TAO を通じて連絡します。通知メールが「no-reply@admissions-office.net」というメールアドレスより送信されますので、受信設定の確認を行い、確実に受信できる状態にしてください。通知メールが届いた際は、速やかに TAO にアクセスしてメッセージ内容を確認してください。

また、受験票および試験の詳細に関する連絡文書は TAO からダウンロードできます。ダウンロードの開始日についても TAO を通じて通知しますので、出願後はメールの着信に注意してください。

試験実施1ヶ月前までに連絡がない場合は、9. その他(6)にある学生募集事務に関する照会先に申し出てください。

4. 選考方法

選考は、オンラインによる口述試験・面接試験の成績及び出願書類(成績証明書、研究計画書及び外国語資格・検定試験の成績証明書等)の審査結果を総合して行います。評価は4段階で行い、専攻分野(講座)ごとに合否を決定します。

(1) 口述試験及び面接試験の内容は、次のとおりです。

(ア) 口述試験、面接試験ともオンラインで行います。

(イ) 口述試験は、提出書類にもとづき専門的知識について10分程度で問います。

(ウ) 面接試験は、志望する専攻分野と今後の研究等について20分程度で問います。

なお、研究内容に関して、外国語の能力を問うことがあります。

(2) 口述試験及び面接試験の実施日は、次のとおりです。

秋季 令和8年(2026年) 9月10日(木)、9月11日(金)

春季 令和9年(2027年) 2月 9日(火)、2月10日(水)

※試験日はいずれか1日です。日時は後日通知しますので、両日とも受験可能となるよう予定を調整してください。なお、個別の希望による試験日時の指定及び変更には応じられません。

(3) 課題について

- ①志望専攻分野（講座）の専門的知識に関する課題を、受験票の後に、TAO を通じて送付します。
回答は、定められた期日までに、TAO にアップロードしてください。
- ②この課題の回答は口述試験の参考資料としますので、提出しない場合はその後の試験を受験することができません。
- ③課題に関する詳細は、課題送付時にお知らせします。

5. 合格発表及び入学手続

- (1) 合格者の受験番号は、国際文化研究科ウェブサイトで次の日時に発表されます。

秋季 令和8年(2026年)9月16日(水) 16:00(日本時間)

春季 令和9年(2027年)2月17日(水) 16:00(日本時間)

国際文化研究科ウェブサイト

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/ja/admission/>

また、合格者本人あてに「合格通知書」を、TAO を通じて発行します。

なお、電話・電子メール等による入学試験結果の問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

- (2) 合格者には、令和9年(2027年)2月下旬に入学手続に関する書類を TAO を通じて送付します。
入学手続は、令和9年(2027年)2月22日(月)から3月5日(金)の間に、郵送または窓口で受け付ける予定です。

- (3) 入学時の必要経費は次のとおりです。

①入学料 282,000 円(予定額) [納付時期 入学手続時]

②授業料前期分

日本人学生等 : 267,900 円(年額 535,800 円)(予定額)

外国人留学生※: 450,000 円(年額 900,000 円)(予定額)

※出入国管理及び難民認定法(昭和二十六年政令第三百十九号)別表第一の四の表の留学の在留資格をもって在留する者をいう。

[納付時期 令和9年(2027年)5月予定]

注1) 上記の納付額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

注2) 入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。

注3) この他に、諸経費として学友会費と外国人留学生向け保険料があります。

・学友会費(全学生対象): 6,000 円(本学出身者は 4,000 円)

・外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険: 23,340 円または 26,190 円

詳細は、合格発表後に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。(金額はいずれも令和8年(2026年)4月1日現在。会費及び保険料の金額は2年間のものです。)

- (4) 在職のまま入学する場合は、入学手続書類として勤務先の所属長の「承諾書」(様式任意)が必要となります。

6. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、博士課程前期2年の課程の標準年限である2年を超えて在学し、修士(国際文化)の学位を取得することを希望する場合は、入学手続に関する通知に基づいて、入学手続時に所定の願い出を行うことにより、長期履修学生として許可される制度があります。ただし、4年を超えて在学することはできません。

なお、基本的には、通常のカリキュラム・授業時間割を使用し、教育・研究指導が行われます。長期履修学生に係る授業料の年額は、一般学生の授業料年額に標準修業年限の年数(2年)を乗じて得た額を、長期履修学生として許可された在学期間(4年)の年数で除した額となります。

7. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係(奨学・授業料免除及び健康管理等)、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究(入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。)に利用します。
- (3) 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。
- (4) 本学大学院国際文化研究科に願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

8. 教育・学習データ利活用について

本学では、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ(以下、「教育・学習データ」という。)を最新のデータ解析やAI技術を用いて分析し、エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。

そのため、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、教育・学習データを有効かつ適正に利活用し、本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL : <https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

9. その他

- (1) 出願書類に不備がある場合には受理できないことがあります。
なお、入学願書受理後の記入事項変更及び納付した検定料返還には応じることができません。
- (2) 検定料の誤納付(検定料を納付したが、出願しない)の場合は返金しますので、秋季または春季入試の出願受付期間最終日までに申し出てください。
- (3) 直近の春季入学試験で出題された課題及びその出題の意図を、本研究科ウェブサイトで公開し

ています。

- (4) 入学試験成績等の情報の開示は、入学試験の実施年度内に受験者本人からの開示請求（所定の申請書）があったものに限り認めます。
- (5) 合格者が募集定員に満たない場合は、第2次募集を行うことがあります。第2次募集を行う場合には、改めて本研究科ウェブサイトにて第2次学生募集要項を公表する予定です。
- (6) 学生募集事務に関する照会先は、次のとおりです。お問い合わせはメールでお送りください。

東北大学大学院国際文化研究科教務係

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内4-1

E-mail int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp

東北大学大学院国際文化研究科

外国人留学生海外出願特別選抜

[海外からの出願による特別選抜]

1. 海外出願特別選抜について

この制度は、日本国外に在住する外国人で、本研究科前期2年の課程に入学を志願する方を対象に、提出された出願書類及び面接による審査をもって入学試験に代える制度です。

この選抜による学生募集は、秋季のみとします。

2. 募集人員

(1) 令和9年(2027年)4月入学の募集人員は、次の表のとおりです。

専攻名	系名	専攻分野(講座)名	募集人員	備考
国際文化研究	地域文化研究	ヨーロッパ・アメリカ研究 アジア・アフリカ研究 現代日本メディア・ジェンダー研究 日本宗教・思想史研究	若干名	
	グローバル共生社会研	国際政治経済論 国際環境資源政策論 多文化共生論		
	言語総合研究	言語科学研究 応用言語研究		
計			若干名	

(2) 令和9年(2027年)10月入学の英語プログラム(言語総合科学コース)の募集方法については、同プログラムの学生募集要項をご覧ください。募集は、言語総合研究系のみとなります。

(3) 令和9年(2027年)4月及び令和9年(2027年)10月入学の英語プログラム(グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム)の募集方法については、同プログラムの学生募集要項をご覧ください。

3. 出願資格

博士課程前期2年の課程(外国人留学生海外出願特別選抜)に出願できるのは、日本国外に在住する日本国籍を有しない方で次のいずれかに該当する方です。

(1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者を含む。)

(2) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(令和9年(2027年)3月までに修了し学士の学位を授与される見込みの者を含む。)

- (3) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年(2027年)3月末日までに22歳に達するもの

備考

- ① 出願資格(2)に該当する方は、下記期日までに国際文化研究科教務係へ問い合わせてください。
期日：令和8年(2026年)6月5日(金)
- ② 出願資格(3)に該当する方は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ国際文化研究科教務係へ問い合わせのうえ、下記期日までに本研究科が指定する書類を提出してください。
期日：令和8年(2026年)6月5日(金)
- ③ 次のいずれかに該当する者は、この特別選抜の対象とはしません。
 - ・日本の高等学校及び日本の大学を卒業した者
 - ・日本の大学の大学院を修了した者
- ④ 本研究科では、研究内容等への理解を深め、指導教員の研究分野と志願者の研究テーマが合致しているかどうかを確認するために、志願者からの事前相談を受け付けます。
指導や受入が難しい場合もあるため、出願にあたっては、指導を希望する教員へ事前に研究計画等の相談をすることを強くお勧めします。
東北大学大学院国際文化研究科 教員連絡先
<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/ja/faculty/>
※事前相談の有無や相談内容が入試の可否に影響することはありません。
※入試に関する情報提供は、試験日程や募集要項などで公表されている基本的な情報のみとします。
- ⑤ 外国人留学生海外出願特別選抜のために必要な諸連絡は、志願者と本研究科の受入予定教員の間で随時行ってください。

4. 出 願 要 件

令和3年(2021年)1月1日以降に受験した日本語能力試験レベルN1もしくはN2の合格者、または令和6年(2024年)1月1日以降に受験した日本学生支援機構の日本留学試験「日本語(読解・聴解・聴読解)」の得点230点以上の者

5. 出願手続

出願は指定のオンライン出願システム The Admissions Office (以降、TAO と表記します。)で行ってください。オンライン出願のおおまかな流れは次のとおりです。

1 募集要項の確認・必要書類の取得



- ・本募集要項で、出願資格や出願要件 (M 外国人留学生海外出願特別選抜 1~M 外国人留学生海外出願特別選抜 2 ページ) や出願に必要な書類 (M 外国人留学生海外出願特別選抜 4 ~M 外国人留学生海外出願特別選抜 5 ページ) 等をよく確認してください。
- ・出願書類の「卒業(見込)証明書」, 「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍(出身)大学等に発行を依頼してください。

2 検定料の支払い



- ・本募集要項 M 外国人留学生海外出願特別選抜 5 ページの指示に従い、オンラインによるクレジット決済により検定料を納付してください。なお、納付の際の手数料は志願者負担です。
- ・出願登録時に検定料納付の控えをアップロードしてください。

3 TAO 出願登録サイトで出願登録



- ・The Admissions Office のウェブサイトアクセスし、アカウント作成後、志願者の情報等の必要事項を入力してください。 <https://admissions-office.net/>
- ・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。
- ・登録後は、登録した内容の変更はできません。登録するときは、誤りのないように、確認しながら慎重に行ってください。

注) 最後に「出願完了」のボタンを押して、出願を完了してください。

データが入力されていても出願が完了していない場合は、出願は受け付けられません。

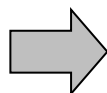
出願完了後は、必ず TAO の「出願一覧」画面で、該当の選抜が「完了済」タブに表示されていることを確認してください。

出願を完了する

【注意事項】
出願完了後すべてのデータは編集不可となります。
入力がすべて完了しているか再度確認してください。

上記確認のうえ出願する。

キャンセル **はい**



The Admissions Office

学校検索 募集検索 基本情報 **出願一覧**

出願一覧

未完了 **完了済**

出願状況	募集名	募集締切日時
☆		
☆	出願済	東北大学 / 国際文化研究科 / ...

(1) 出願書類

TAO から、下記の手順に従い、受付期間内に指定の書類を提出してください。

【手順】

1. 下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が表示されますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。

<https://admissions-office.net/>

※外国人の方で、氏名の漢字表記がある方は、できるだけ漢字を用いて登録してください。

2. アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューで「東北大学/国際文化研究科/博士課程前期2年の課程/外国人留学生海外出願特別選抜」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。
3. それぞれの提出書類毎の指示に従って、オンライン出願システムの入学願書フォームに必要事項を入力する、または書類をデータ化し出願フォームにアップロードしてください。

・書類のデータ形式は、指定があるもの以外は PDF 形式としてください。

・提出する証明書は原則として **日本語または英語** のものとし、それ以外の言語の場合は **和訳または英訳** を添付してください。

・上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に国際文化研究科教務係へ問い合わせてください。

※一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※受付後の出願取下げは認めません。

※出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

※試験に合格して入学する者は、入学手続き時に TAO にアップロードした書類の原本の提出が必要です。アップロードした書類と、入学手続き時に提出した原本の内容に相違がある場合、あるいは各種証明書の原本を提出できない場合は、書類不備として入学許可を行わないことがあります。

No.	提出書類等	摘要
1	入学願書及び履歴書	TAO の入学願書フォームに必要事項を入力すること
2	顔写真データ	・上半身無帽像で3ヶ月以内に撮影した、パスポート申請時に使用するような画像（修正・加工不可） ・試験時に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影すること ・サイズは原則として「縦4：横3」の比率で撮影（またはトリミング）し、データは JPEG 形式、ファイルサイズは 8MB 以内とすること
3	卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長が発行するもの（出身大学以外の機関が発行するものは認めない）
4	成績証明書	出身大学（学部）長が発行するもの（出身大学以外の機関が発行するものは認めない）
5	日本語能力証明書	令和3年(2021年)1月1日以降に受験した日本語能力試験レベルN1もしくはN2の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」、または令和6年(2024年)1月1日以降に受験した日本学生支援機構の日本留学試験「日本語（読解、聴解・聴読解）」の得点230点以上の成績確認書
6	学士論文またはこれに準ずると認めうる内容の研究論文	学士論文または研究論文には日本語による要約を添付すること

	文	
7	研究計画書 (表紙に志望専攻分野(講座) 名・氏名を記入すること)	日本語で 4,000~6,000 字程度 (参考文献は指定文字数に含める)
8	推薦書	出身大学の学部長または指導教員に、日本語または英語で作成したものを TAO からアップロードするよう依頼すること
9	本研究科教員による 受入内諾書	本研究科所定の様式を用い、受入れ予定教員が作成したもの (下記 URL から受入内諾書様式をダウンロードし、事前に受入れの承諾を得ている本研究科教員に作成を依頼し、返送してもらったものを提出すること https://www.intcul.tohoku.ac.jp/ja/contents/admission_info/)
10	経済的基盤に関する書類	納税証明書、預金残高証明書等
11	検定料 (30,000 円)	オンラインによるクレジットカード決済で、下記により検定料を納付し、最後に表示される手続完了画面「Result」の画像を提出すること https://e-shiharai.net/ecard/ にアクセスし、各項目で以下の通り選択する "Examination Fee" "Tohoku University (Graduate schools)" FirstSelection:"Graduate School of International Cultural Studies" SecondSelection:"Special Admission from abroad" FourthSelection:"Master's Program 30,000 JPY" ※ 振込手数料は、本人負担となる

(2) 出願受付期間

令和 8 年 (2026 年) 7 月 3 日 (金) 9:00 から

令和 8 年 (2026 年) 7 月 16 日 (木) 16:59 まで (いずれも日本時間)

※出願受付期間内に TAO の「出願完了」のボタンを押してください。

データが入力されていても出願が完了していない場合は、出願は受け付けられません。

※障害等があり受験及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前の早い時期に 11. その他(4)にある学生募集事務に関する照会先に申し出てください。必要に応じた配慮を行います。申請書の様式 (Word ファイル) は以下の URL よりご確認ください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/file/924/9d9b2980-86d6-11f0-b277-3f846f7f1038>

(3) 出願後の留意事項

出願完了後、書類に不備等があった場合は、TAO を通じて連絡します。通知メールが「no-reply@admissions-office.net」というメールアドレスより送信されますので、受信設定の確認を行い、確実に受信できる状態にしてください。通知メールが届いた際は、速やかに TAO にアクセスしてメッセージ内容を確認してください。

また、受験票および試験の詳細に関する連絡文書は TAO からダウンロードできます。ダウンロードの開始日についても TAO を通じて通知しますので、出願後はメールの着信に注意してい

てください。

試験実施1ヶ月前までに連絡がない場合は、11. その他(4)にある学生募集事務に関する照会先に申し出てください。

6. 選考方法

選考は、提出された出願書類及びオンラインによる面接の審査結果を総合して行います。評価は4段階で行い、専攻分野（講座）ごとに合否を決定します。

面接の方法・日時については後日通知します。

7. 合格発表及び入学手続

(1) 合格者の受験番号は、国際文化研究科ウェブサイトで次の日時に発表します。

令和8年(2026年)9月16日(水)16:00(日本時間)

国際文化研究科ウェブサイト

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/ja/admission/>

また、合格者本人あてに「合格通知書」を、TAOを通じて発行します。

なお、電話・電子メール等による入学試験結果の問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

(2) 合格者には、令和9年(2027年)2月下旬に入学手続に関する書類をTAOを通じて送付します。

入学手続は、令和9年(2027年)2月22日(月)から3月5日(金)の間に、郵送または窓口で受け付ける予定です。

(3) 入学時の必要経費は次のとおりです。

①入学金 282,000円(予定額)〔納付時期 入学手続時〕

②授業料前期分

外国人留学生※：450,000円(年額900,000円)(予定額)

※出入国管理及び難民認定法(昭和二十六年政令第三百十九号)別表第一の四の表の留学の在留資格をもって在留する者をいう。

〔納付時期 令和9年(2027年)5月予定〕

注1) 上記の納付額は予定額であり、授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

注2) 入学金及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。

注3) この他に、諸経費として保険料と学友会費があります。

・外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険：23,340円または26,190円

・学友会費(全学生対象)：6,000円

詳細は、合格発表後に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。(金額はいずれも令和8年(2026年)4月1日現在。各保険料の金額は2年間のものです。)

8. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、博士課程前期2年の課程の標準年限である2年を超えて在学し、修士(国際文化)の学位を取得することを希望する場合は、入学手続に関する通知に基づいて、入学手続時に所定の願い出を行うことにより、長期履修学生として許可される制度があります。ただし、4年を超えて在学することはできません。

なお、基本的には、通常のカリキュラム・授業時間割を使用し、教育・研究指導が行われます。長期履修学生に係る授業料の年額は、一般学生の授業料年額に標準修業年限の年数(2年)を乗じ

て得た額を、長期履修学生として許可された在学期間（4年）の年数で除した額となります。

9. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等）、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究（入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。
- (3) 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。
- (4) 本学大学院国際文化研究科に出席した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

10. 教育・学習データ利活用について

本学では、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下、「教育・学習データ」という。）を最新のデータ解析やAI技術を用いて分析し、エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。

そのため、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、教育・学習データを有効かつ適正に利活用し、本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL : <https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

11. その他

- (1) 出願書類に不備がある場合には受理できないことがあります。
なお、入学願書受理後の記入事項変更及び納付した検定料返還には応じることができません。
- (2) 検定料の誤納付（検定料を納付したが、出願しない）の場合は返金しますので、出願受付期間最終日まで申し出てください。
- (3) 入学試験成績等の情報の開示は、入学試験の実施年度内に受験者本人からの開示請求（所定の申請書）があったものに限り認めます。
- (4) 学生募集事務に関する照会先は、次のとおりです。お問い合わせはメールでお送りください。
なお、照会する際は、日本語で行ってください。

東北大学大学院国際文化研究科教務係

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内4-1

E-mail int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp

東北大学大学院国際文化研究科

国際文化研究科の概要

国際文化研究科は、国際文化研究専攻のもとに新たな知の創出をめざす先端的な三つの教育プログラムから構成されています。すなわち、(1) 日本を含む世界各地の文化と社会の固有性や多様性を解明する「地域文化研究系」、(2) 安全保障、経済、資源、環境、民族共生に関する文理融合型の視点から地球規模の課題解決法を探究する「グローバル共生社会研究系」、(3) 近年発展が目覚ましい脳神経科学や情報科学等の関連諸科学も視野に収めた先進的な言語学の理論研究と応用研究の展開を目指す「言語総合研究系」です。

この3つの教育プログラムのもとに、合わせて次の9つの専攻分野（講座）があります。

注1) 国際文化研究科では、教授、准教授、および講師が学生の指導にあたります。

注2) 下記教員一覧は、学生の指導にあたることのできる教員のうち、2027年3月退職予定の教員を除いたものです。この情報は2026年5月現在のもので、今後変更になる可能性があります。各入試において選択できる主指導教員は、TAOの入学願書にある「指導希望教員氏名」に掲載されたリストが最新となりますのでご注意ください。

<地域文化研究系>

講座名	教員名	教員の研究テーマ
ヨーロッパ研究・アメリカ	小原 豊志 教授	① アメリカ政治史・法制史 ② アメリカにおける「人種」の研究 ③ アメリカにおける人民主権とポピュリズムの研究
	山内 玲准 教授	① 文学研究(英語圏アメリカ/スペイン語圏アメリカ) ② ラテンアメリカの小説 ③ ガルシア＝マルケスの小説
	中津 匡哉 講師	① 幕末・明治期の日仏交流史 ② 軍事分野における日仏交流史 ③ 幕末・明治期に来日したお雇い外国人
アジア・アフリカ研究	勝山 稔 教授	① 中国文学（文言小説・白話小説・近代小説） ② 東洋史学（宋元代～明代社会史研究） ③ 日本近代文学 ④ 日中比較文学 ⑤ 日本における中国文化の受容 ⑥ 日本映画・サブカルチャー
	大河原 知樹 教授	① 東アラブ地域研究 ② 西アジア・北アフリカの家族と人口 ③ イスラーム圏のマイノリティ（キリスト教徒、ユダヤ教徒）
	朱 琳 准教授	① アジア政治思想史 ② 東アジア文化交流史 ③ 近代日中知識人の自己認識と他者理解 ④ 近代日本の東洋史学
	木村 可奈子 准教授	① 東アジア国際関係史 ② 東洋史（明清中国・朝鮮など）

現代日本メディア ・ジェンダー 研究	妙木 忍 准教授	<ul style="list-style-type: none"> ① ジェンダーの社会学 ② 現代日本における観光文化 ③ 性と身体に関する展示表象
日本宗教・思想史 研究	ゴダール, クリントン 教授	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本宗教史 (近代仏教と科学思想) ② 近代科学史 (日本進化論思想史) ③ アジア主義 ④ 軍事思想史
	クラウタウ, オリオン 准教授	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本宗教史 (近代仏教とアカデミズム) ② 近代の国家主義と仏教 ③ 近現代オカルトの歴史 ④ 日本における歴史叙述思想
	ガイタニディス, ヤニス 准教授	<ul style="list-style-type: none"> ① 宗教と消費者法 (法人類学) ② 精神世界・スピリチュアリティの民族誌 ③ 代替療法の近現代史 ④ 日本研究・学際研究方法論

<グローバル共生社会研究系>

講座名	教員名	教員の研究テーマ
国際政治経済論	劉庭秀 教授	① 総合的な廃棄物管理と資源リサイクル ② 脱炭素と循環経済 ③ 持続可能性と社会共創
	池田亮 教授	① 国際政治史 ② ヨーロッパ・アジアの冷戦史 ③ 植民地政策・脱植民地化政策の比較研究 ④ 中東・北アフリカの国際関係
	大窪和明准教授	① 土木計画学 ② 不確実性下の意思決定 ③ 循環経済と機械学習
	モニス・バンデイラ, エガス 准教授	① 政治思想史 ② グローバル法制史 ③ 近現代東アジアにおける歴史の解釈 ④ 翻訳史
国際環境資源政策論	青木俊明 教授	① 環境配慮行動を含む向社会的行動の促進策 ② 都市生活における QoL とソーシャル・キャピタル ③ 持続可能な都市構造への転換にむけた心理的方策
	(協力教員) 泉貴子 教授	① 国際防災戦略 ② 災害対応・防災を中心とする国際協力 ③ 各ステークホルダーの防災・災害リスクマネジメントにおける役割
	佐藤正弘 准教授	① 人工知能/機械学習を使った行動分析・社会分析 ② 社会的学習、知識・情報の伝播 ③ 自然資本利用の経済分析
多文化共生論	坂巻康司 教授	① 19・20 世紀フランス語圏文学 ② 日仏比較文学、文化交流史 ③ 演劇理論
	目黒志帆美 准教授	① エスニック・マイノリティの歴史 ② アメリカ史 ③ ハワイ史

<言語総合研究系>

講座名	教員名	教員の研究テーマ
言語科学研究	江藤 裕之 教授	① 精神史・学問史の中における言語学 ② 英語の意味と文法の歴史的研究 ③ リベラルアーツ教育としての英語教育と英語アカデミックライティング教授法 ④ 東アジアの英語と英語教育
	高橋 大厚 教授	① 言語学（生成言語学） ② 統語理論 ③ 比較統語論・日本語統語論・英語統語論
	中山 真里子 教授	① 心理言語学 ② 視覚的単語認識プロセスの研究（日本語、英語、日英バイリンガル） ③ 単語産出プロセスの研究（日本語、英語、日英バイリンガル）
	中本 武志 准教授	① ロマンズ語学・一般言語学 ② ポライトネス理論・語用論 ③ 翻訳論・比較文体論
	ジスク, マシュー ヨセフ 准教授	① 日本語学、日本語史（漢字・漢文の受容と影響） ② 言語接触論（借用の起こり方と借用形式の分類） ③ 東アジアにおける漢文訓読とヨーロッパにおける古典注釈の比較 ④ 言語学用語と文法記述（形態素グロス、音素表記）
	吉原 将大 准教授	① 認知心理学 ② 母語としての日本語における単語の受容と産出 ③ 第二言語としての日本語における単語の受容と産出
	真家 峻 講師	① 認知心理学的アプローチによる第二言語習得/教育研究（日本語、英語） ② 言語研究における方法論および応用統計学に関する研究 ③ タスクに基づく言語指導法（Task-based language teaching）
応用言語研究	鄭 媽 婷 教授	① 脳科学的アプローチによる言語研究 ② 第二言語習得の認知メカニズム研究
	菅谷 奈津恵 教授	① 第二言語習得 ② 日本語教育 ③ 漢字の指導法
	中村 渉 准教授	① 認知-機能主義的な統語論・意味論の研究 ② 対照言語学、言語類型論 ③ 日本語文法
	内原 卓海 准教授	① 第二言語語彙習得 ② 英語教育

	常本 亜希 准教授	<ul style="list-style-type: none"> ① 第二言語音声習得 ② スピーキングとリスニングの指導・評価法 ③ 教師教育
	岩渕 俊樹 准教授	<ul style="list-style-type: none"> ① 言語処理の脳内メカニズムの研究 ② 心理言語学的アプローチによる神経発達症の研究